

子どもを真ん中にした地域ぐるみの学校支援で、学校が元気に！地域が元気に！

とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年12月4日発行 第24号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団 の活動を紹介〈その14〉

「また会えたね」「教えてください」
地域の応援団、保護者の方々が授業支援

10月14日と27日、11月9日の3日間、更別小学校5年生の家庭科の時間に、地域の学校応援団と保護者の方々が授業支援に入ってくださいました。家庭科の地域の方等による支援は、1学期に引き続いて2回目の取組です。

3日間で延べ12名の地域の方と9名の保護者の方が授業支援に入りました。



密を避けるため、2つの教室で授業をします。

【担任の先生と事前の打ち合わせ】

本日の授業の内容確認。今回も子どもたちにどんな支援をしていったらよいかの観点を提示していただいたので、スムーズに支援ができました。

授業の内容は「ミシンを使ってマスクを作ろう」でした。

14日は、初めてミシンに触れ、実際に糸をかけて試し縫いをしました。

27日は、ミシンを使って「マスク」を作り、11月9日は、マスク作りが終わった児童が、やや複雑なティッシュケース付マスクポーチにもチャレンジしました。

サポートする大人たちは、子どもたちの自主性を尊重し、質問やお願いをされたら教えてあげ、また、様子を見ながら、苦戦し

ていそうな子どもがいたら、そっと手を差し伸べていました。子どもたちに、「上手！上手！」「丁寧な作業だね」など、プラスメッセージを伝えてくれました。

ありがとうございました



縫いしろに定規で印をつけるよ。



そうそう、上からしっかりアイロンをかけて・・・。



さあ、もう一度チャレンジしてみよう。



布のはしを三つ折りにするよ。

サポートに入ってくださいました地域の学校応援団の方々、小学校保護者の皆様

梶浦さん 草深さん 宗像さん 栗田さん
佐藤さん 石井さん 瀬田川さん
道見さん 寺井さん 森田さん 浅野さん

担任の仲野先生は「サポートしてもらうことで、子どもたちが安心して学習に臨み、できる喜びを味わうことができました。」とコメント。

授業のサポートに入ってくださいました方々からの感想(抜粋)

○子どもたちから「教えてください。」「すみません。分かりません。」と、どんどん声をかけてきてくれました。

○ミシンの糸の不具合があるなど大変な場面もありましたが、子どもたちはそれにもめげず前向きで意欲的に完成に向けてがんばっていたのが素晴らしかったです。

○みんな素直でアドバイスにもしっかりと耳を傾けてくれました。作品をつくる途中にはみんなの性格がいろいろと出ていて、また、それが楽しかったです。